

令和5年度 学校評価(定時制課程)1 (分掌別数的評価に対する適切さの評価)

- (1) 学校評議員による自己(内部)評価の適切さについて、4段階で評価したものである。  
 (2) 学校評議員による分掌等の組織的な取組に関して、次年度に向けてご意見・ご要望・ご助言等を記載したものである。

部 係	評 価 項 目	自己(教員)評価		学校評議員 適切さの評価
		項目別評価	分類別評価	
総務部	1 円滑な校務運営に努め、校務の合理化・効率化を図っていたか。	3.3	3.3	3.5
	2 各分掌・学年との連携に努め、年間行事計画、月間行事予定の調整を図っていたか。	3.3		
	3 学校行事(入学式・卒業式・始業式・終業式・着任式・離任式・記念行事)を企画運営し工夫と改善に努めていたか。	3.3		
	4 各種資料(学校要覧・教育計画・学校案内・中定だより等)や生徒データ、諸用紙の作成・整備・保管に努めていたか。	3.3		
	5 防災計画に基づく訓練を実施し、非常災害の発生に対する生徒の安全確保に向けた取組を行っていたか。	3.1		
	6 事務部と協力して教育条件の整備を図っていたか。	3.2		
	7 全定間の連絡調整に努めていたか。	3.3		
保健厚生	8 年間実践計画(健康測定、各種検査、薬物乱用防止教室等)に基づき、健康安全に関する意識の高揚を図っていたか。	3.3	3.5	3.8
	9 学級担任と連携して、生徒個々の保健指導の実施に努めていたか。	3.4		
	10 「保健だより」を予定どおり発行していたか。	3.8		
	11 「月別献立表」を発行するなどして、給食活動の充実に努めていたか。	3.6		
教務進路部	1 生徒の実態に応じた教育課程の編成に努め、円滑で適正に実施されていたか。	3.6	3.3	3.5
	2 年間時間割編成や日常の連絡調整に努め、授業時数の確保を図っていたか。	3.7		
	3 定例の研修会などを通じ、生徒の実態を把握し、適切な学習指導が行われるような取組が行われていたか。	2.9		
	4 生徒の在籍や教科書の選定に係る教務的業務(在籍管理、奨学生指導、教科書発注業務等)について、適切かつ確実に実施することができたか。	3.6		
	5 ICTの活用や視聴覚に関する立案実施や視聴覚機器の整備と管理が適切に行われていたか。	3		
進路	6 進路に関する情報・資料を収集・整備するとともに、これらを活用して進路への関心を高めさせる取組が行われていたか。	3.3	3.4	3.5
	7 適切な進路指導を行い、進路決定率の向上に努めていたか。	3.3		
	8 各種の就職支援事業を活用し、社会に出て働く意識の高揚を図っていたか。	3.6		
	9 将来の社会人として、最低限のマナーを身に付ける指導を行っていたか。	3.3		
生徒指導	1 教員と生徒の信頼関係を基礎に、適切な生徒指導に努めていたか。	3.6	3.4	3.5
	2 校内外における生活規律と学習態度(授業規律)の確立に努めていたか。	3.1		
	3 生徒理解をより深めるために、担当者のリーダーシップのもと教員全員で全校生徒を対象とした教育相談に取り組んでいたか。	3.6		
	4 車両通学生の指導を適宜行い、交通安全に対する意識を高め、交通事故防止に努めていたか。	3.3		
	5 特別活動や部活動を通して、生徒の自主性や自立心の育成に努めていたか。	3.4		
	6 PTA活動に関して、PTA事務局に係る業務を適切に行われていたか。	3.2		
生徒会	7 生徒会活動の発展・充実に努めていたか。	3.9	3.6	3.8
	8 学校行事全般に指導力を発揮する執行部を育成していたか。	3.4		
	9 行事の企画や運営に積極的に参加させて、学校生活の充実感を味わせていたか。	3.7		
	10 生徒会誌「巨星」を発行し、定時制生徒としての自覚と誇りを持たせていたか。	3.4		
その他	1 いじめは絶対に許さないという姿勢を持ち、いじめ未然防止に努めていたか。	3.8	3.8	3.8
	2 全体の奉仕者として公共の利益のために職務を遂行すべき責務を負っていることを自覚し、不祥事の未然防止と服務規律の遵守に努めていたか。	3.8		

【学校評議員からのご意見・ご要望・ご助言等】

- ・中高の接続を円滑にするための学び直しの重要性が増しているため、生徒の実態に合わせた授業改善を継続してほしい。
- ・校内研修等を行い、教員側のリスキリングも必要になってきている。
- ・今後も本校の教育活動に触れる機会を増やしてもらい、開けた教育活動をお願いしたい。